

2023年6月19日

学校法人三幸学園  
神戸元町こども専門学校  
校長 門脇 千里 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 長谷川 力

### 学校関係者評価委員会実施報告

2022年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 辻 千里 (社会福祉法人山善福祉会 しろさいこども園 園長)
- ② 長尾 優美 (第4期卒業生)
- ③ 長谷川 力 (飛鳥未来きずな高等学校 神戸キャンパス キャンパス長)

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

2023年6月19日(会場 神戸元町こども専門学校 504教室)

#### 3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 2022年度 学校法人 三幸学園 神戸元町こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 松本 悠

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長:長谷川 力

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 前年度重点施策振り返り

学校スローガン: 共育

教育目標: 新入生—凡事徹底 進級学年—社会人基礎力の醸成

卒業時—生きる力を身に付けた人材の育成

退学率目標: 4%以内、結果: 7.8%

募集目標: 140名、結果: 116名

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

#### ① 課題

学校としての教育目標や学科ごとの目指す人材育成像の設定はできているが、具体的な評価と体現に繋がられていない。（特に実習において。）

#### ② 今後の改善方策

現場のニーズに合った教育実習の目標の明確化、教育の質向上を図る。（実習においては全国から選出されたプロジェクトチームによって現在施策検討を行い、少しずつ実行に移っている）

#### ③ 特記事項

なし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（辻 委員）

若手職員について、まじめでしっかりしているが、想像力・生み出す力をどう付けていくかが課題。園の組織図が若手ばかりであるため、どうしたら想像力のある人材を育成していけるかを模索中。想像力豊かな職員が入社してくれると大変ありがたい。

（長尾 委員）

在学中の想像力発揮の場面について、保育発表会(学校行事)の際に一部の生徒が終始より良くするためにと考え動いており、その他大勢の生徒はそこまで考えて行動ができていない印象。また、在学中の実習にて、自分で考え実践できる場が数週間しかなく、実習現場にやっと慣れてきたタイミングで実習が終了してしまうことが多かった。実習以外でも、例えば授業の中で子どもと触れ合える機会がたくさんあれば良かった。

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

### ① 課題

業務の効率化を図ってはいるがより効果的な情報システム化が必要である。

### ② 今後の改善方策

デジタル教科書の導入や授業支援ツールの導入を検討している

### ③ 特記事項

授業支援ツール(ロイロノート)を試験的に使用予定

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

(辻 委員)

ICT 活用について、年長クラスにて iPad を活用して保育をしている。業務内で ICT 化はなかなか進んでいないが、状況に応じて取り入れていく予定。

(長尾 委員)

ICT 活用は盛んで、アプリケーションにて月案作成、保護者との連絡も専用のアプリケーションを使用している。業務において子供とかかわる場面以外で基本的に手書きはない。在学中に PC 操作を授業で受講できていてよかった。

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

業界との連携は引き続き強化していく必要がある。

指導力育成など資質向上のための研修は実施できているが、関連分野の先進的な知識・技術を修得するための研修は十分ではない。

#### ② 今後の改善方策

実習や行事だけでなく授業においても関連分野の業界と連携できるよう計画を進める。

関連分野の先進的な知識・技術を修得するための研修の計画を進める。

#### ③ 特記事項

なし

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

(長谷川 委員)

導入研修について、発達障害を持つ生徒や様々な事象を抱える生徒の入学者が増加していることを踏まえ、多様化する生徒に対応するための研修を年に数回研修している。研修受講を機に、ジェンダーレス化でスカートが履かない女子生徒の対応として、スラックスも導入。

(辻 委員)

導入研修について、現在のところ特色のある内容はまだ導入していないが、園児の不適切な行動やアンガーマネジメントなど心のサポートに特化した研修や、電話対応などの接遇・マナー研修も今後導入していきたい。

#### (4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

##### ① 課題

退学率の低減を図る必要がある。  
卒業生の状況を把握しきれていない。

##### ② 今後の改善方策

複数担任制の促進と効果的運用を行うとともに、スクールカウンセラーを効果的に活用していく。  
卒業生とのネットワークの構築を図る。

##### ③ 特記事項

なし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（長尾 委員）

在学中の相談相手について、たくさんの先生と普段から話をしていたため、様々なことを相談しやすい環境だった。クラスに既卒者がおり、自ら積極的にコミュニケーションを取れない生徒に声をかけることや、担任の方に声をかけていただくような根回しをするなどの支援をしているクラスメイトもいた。

（長谷川 委員）

退学防止策について、副担任制を取り入れている。また、入学前の動機づけとして、学校の一部規則や登校・授業スタイルを伝え、全日制に近い飛鳥未来高校の学校生活イメージを膨らませてから入学してもらっている。通信制高校の場合はほとんど登校しなくても良いというイメージが非常に強いため、事前に伝えておかないとギャップに悩み退学する生徒が発生しやすくなってしまふ。

## (5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

### ① 課題

クラス担任制で担任が主に生徒状況の把握を行っているが、生徒の多様化に対応し切れていないケースが多くなり、適切な相談対応が十分ではない。

卒業生への支援体制は一部構築しているが、十分に活用できていない。

中途退学者への支援を十分に行うことはできていない。

### ② 今後の改善方策

スクールカウンセラーの運用体制見直し(機会の拡張)と、連携の強化を図る。

卒業生支援体制の活性化を図る(同窓会実施以外の支援)。

中途退学者へも修得単位の確認や編入の可能性の説明などを行っていく。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

#### (辻 委員)

卒業生支援のための園訪問について、学校側が訪問し電話を掛けてくれることは大変嬉しい。職場で緊張していて心をなかなか開けない新卒も少なくないため、そのようなフォローは有難い。また、そのような機会でも、学校側で得た情報を共有してもらえると、課題解決しやすくなりそう。入社1～2年まではサポートしてもらえると有難い。

#### (長尾 委員)

卒業校の先生との関わりについて、実習巡回の際に学校の先生と会合ことができ、直接話ができるのは嬉しい。自分がお世話になった先生から声かけしてもらえることでモチベーションがあがり、頑張れる。同じ思いの卒業生は多いと考える。



## (6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	2

### ① 課題

コロナ禍で避難訓練が行えておらず、ハザードマップを使った説明で終わっている。

### ② 今後の改善方策

避難訓練の実施。

### ③ 特記事項

緊急地震速報が発令された際の行動案内ポスターを掲示している。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（辻 委員） 避難訓練の実施について、月1回必ず実施し、内、年2回は消防署と連携して訓練を行う。

（長尾 委員）

避難訓練の実施について、同じく月 1 回実施・年2回の消防署との連携訓練を行っている。現場の課題として、本  
当に火災等で非難が生じる際に、パニックにならずに子どもたちをどう守れるかが上がっている。

## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

継続的、安定的な入学者の確保。

入学前後のギャップ解消。

### ② 今後の改善方策

教育活動と連動した広報活動を行うことで、学校のブランド力を強化していく。

学校規則(身だしなみ等)や短期大学併修の学習量・学習内容の積極的開示を行っていく。

### ③ 特記事項

兵庫県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

(長谷川 委員)

高校の進路活動状況について、何をしたいか決まっていない、専門学校と大学に進学する違いを分かっていない生徒が多い印象。また、進路活動方法として、飛鳥未来高校はAO制度を促進している。

(長尾 委員)

自身の高校時代の進路活動について、高校の担任からは専門学校より短期大学の方が優先的な案内だった。進路の決め手は、実践的な授業が多かったこと。ピアノ実技や皆の前で発表することが苦手だったため、実践経験を積める学校選びをした。その結果、2年生の実習時期(6月頃)から、自ら積極的に人の前に出て話すことや発表する事に対する億劫な気持ちが無くなった。

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

なし

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

#### 【財務情報の公開】

なし

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

### ① 課題

個人情報の保護に努めてはいるが徹底という意味では十分ではない。

### ② 今後の改善方策

個人情報に対するパスワードの設定や郵送物への記録などを強化していく。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（辻 委員）

個人情報の保護について、園と保護者との間では全員に同意書を提出してもらっており、今のところクレームやトラブルは無い。また、職員に対しては守秘義務を常に伝えているが、若手の職員による写真等の取り扱いは具体例も踏まえて伝えないと理解してもらえない印象が年々強くなっている。今後、ICT化が更に進むことでセキュリティの面で課題が出てきそうだと感じている。

（長尾 委員）

個人情報の保護について、同様に同意書で管理している。工夫として、インスタグラムでは園児の顔をスタンプで隠す、ケーブルテレビでは顔が映らないように背面から撮影してもらうなどの対応をしている。若手職員の個人情報の取り扱い感覚として、インスタグラムにて相互フォローで繋がっていて、自分たちだけで共有できる場ならいいだろうと投稿したりしているが、個人の線引きがあるので統一がなかなかできない。

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

### ① 課題

コロナ禍も影響し子育て支援などの地域貢献ができていない。

### ② 今後の改善方策

近隣園や近隣住民の親子を中心に、子育て支援の環境提供等の地域貢献を積極的に行う。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

（辻 委員）

地域連携として、毎年地元の方に人形劇を実施してもらっているが、ご高齢の方なので養成校の生徒に来てもらおうかと考えている。人形劇ばかりでなく、コンサート等さまざまな発表会も検討している。神戸元町こども専門学校の学校行事（保育発表会）の練習として活用してもらっても良い。

（長尾 委員）

地域連携について、養成校の生徒に来てもらい月1回お楽しみ会を実施している。

在学中はコロナ禍だったため現場実習以外の現場活動が無かったが、ボランティア活動など子どもたちと触れ合う機会を現場実習以外にも参加し、より多くの経験を積んで子どもとの関り方の力を更に磨いておけばよかった。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価

卒業生が少しずつ多くなっていく中、卒業した生徒たちが長く現場で活躍できる環境を作っていくことが大切である。そのような中、同窓会の実施などで就職先がフォローしきれていない卒業生に対し、学校がサポートできる取り組みは非常に良いと思う。また、人間力を高めるために、ボランティアなどの現場体験を増やし子どもの主体性を引き出せるようになってほしい。そのためには、教えてもらったことだけを実践するだけでは身につかないので、私たち職員も主体性持つておくべきである。今後も園を含む地域との関係性を密にとれている学校となることを期待している。

以上